

事例7

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり過量投与に至った

テモダールカプセル 100 mg（テモゾロミド）：抗悪性腫瘍薬

- ・ 70 歳代、脳腫瘍（化学療法中）

- ・ 骨折で緊急入院時、他院の脳神経外科医師から診療情報提供書が届いていなかった。整形外科医師は、テモダールカプセル 100 mg 3 カプセル/日を約 1 か月間、継続処方した。その間、複数回にわたり処方監査・薬剤鑑査で休薬期間が必要であることを見逃し、内服薬を投与した。

- ・ 連日投与開始約 1 か月半後、汎血球減少および骨髄抑制を発症。本来休薬する期間に連日投与していたことが判明。治療を行うが、約 4 か月後に死亡。

- ・ 死因は、骨髄抑制による全身状態の悪化。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。